

令和3年度 学校図書館評価シート

足立区立本木小学校 校長 藤田 暁美

1 学校図書館の現状（今年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12,175冊（蔵書基準冊数 9,160冊）／ 蔵書率132.9%（前年度121%）									
	② 新規購入図書 564冊 ／ 廃棄図書 518冊 ／ 増減冊数46冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学8類
蔵書構成割合	1.2%	1.0%	5.2%	7.0%	10.3%	3.8%	2.7%	6.5%	3.0%	59.4%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	② 開館時間：授業時、平日（中休、昼休）（前年度からの変更 あり・なし）									
	③ 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 43冊（前年度：49.21冊）									
	④ 1か月に2冊以上読む児童 69.2%（前年度：75%）									

2 学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況（今年度総括）

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせることができた。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばすことができた。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養うことができた。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高められた。

3 今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況

第1学年	① 読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館を使う授業により、本を手取る機会を増やす。 ② 学校図書館の本を利用し、読書する経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。	① 各クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間等を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100% ④ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上
目標達成状況	
① 各クラス週1回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 年間を通して一人あたり75冊の読書にとどまった。 ③ 学校図書館オリエンテーションを各クラスで行うことができた。 ④ 調べる学習コンクールに100%参加することができた。	
第2学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書月間等を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上
目標達成状況	
① 各クラス週1回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 年間を通して一人あたり100冊以上の読書をすることができた。 ③ 調べる学習コンクールに100%参加することができた。	

第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、様々な本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上
目標達成状況	
① 各クラス週1回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 年間を通して一人あたり70冊以上の読書を行うことができた。 ③ 調べる学習コンクールに100%参加することができた。	

第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書週間を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上
目標達成状況	
① 各クラス週1回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 年間を通して一人あたり70冊以上の読書を行うことができた。 ③ 調べる学習コンクールに100%参加することができた。	

第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上
目標達成状況	
① 各クラス月2回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 年間を通して一人あたり100冊以上の読書を行うことができた児童は1%未満であった。 ③ 調べる学習コンクールに100%参加することができた。	

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の情報を効果的に活用してまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合が95%以上

目標達成状況
① 各クラス月2回、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ② 年間を通して一人あたり100冊以上の読書を行うことができた児童は1%未満であった。 ③ 調べる学習コンクールに100%参加することができた。

4 学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果

【蔵書・配架等に関すること】
① 既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れについて、当初の想定よりも遅れたが12月中に完了した。 ② 調べる学習の充実を図るための選書を行うことができた。蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成することができた。
【学校図書館支援員との連携・協働】
① 学校図書館オリエンテーションの実施や読み聞かせ等、支援員と協力して取り組めた。 ② 調べる学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について司書教諭を通して、支援員への相談や情報交換を行い、学習資料を適切に準備することができた。 ③ 年度後半から図書ボランティアの会が発足したが、コロナ禍のため思うように活動することができなかった。

5 学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）

<p>コロナ禍ということで、図書の貸し出しができない期間もあったが、児童に多くの図書を手に取ってもらうために、貸し出し冊数を常時3冊までとした。1度の貸し出しで多く図書を借りることができるようにしたため、読書が好きな児童は100冊以上読むことができた。ただ、緊急事態宣言等が出た際、図書室を閉館せざるを得なかったため、貸し出し冊数は昨年度よりも少なかった。</p> <p>学校図書館支援員が蔵書整理をこまめに行ったため、図書準備室も含め、図書を手に取りやすい環境整備を行うことができた。</p>

6 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）

※令和3年度外部評価実施できず

7 今後の展望 —課題や問題点への改善・対応方針を踏まえて—

<p>図書の貸し出し冊数を常時3冊上限としたが、緊急事態宣言時など、閉館せざるを得ない状況もあり、貸し出し冊数が伸びなかった。そのため、次年度は、長期休暇の際の貸し出し冊数を多くするなどして、児童が多くの図書に触れあえるようにしていく。</p> <p>また、調べる学習の充実を図るため、図鑑や年鑑等の資料を計画的に購入していく。図書だけではなく、新聞やパンフレット等も図書館資料としてとらえ、収集するようにし、学校図書館の「読書センター」「学習センター」、「情報センター」としての機能向上を実現し、児童が主体的に学校図書館を活用して読書・学習し、創造的な活動を行う環境を作っていく。</p> <p>さらに、安全で見通しのよい図書室を作るために、本棚の配置を変えていく予定である。</p>
